



市議会だより



東京2020オリンピック競技大会自転車競技ロードレースのテストイベントが小金井市内で行われました。(7月21日)

移動支援費給付金 誤支給問題 市の債権を放棄

一般会計補正予算を全会一致で可決

第2回定例会の概要

令和元年第2回定例会(五十嵐京子議長)は、5月31日に開会し、6月24日に閉会しました。

債権の放棄等について

本件は、利用者(障がい者)に対する移動支援費の時間外加算の支給について、市が平成18年10月分から平成30年8月分までを規則の規定によらずに支給した23万5千300円の債権を放棄する案件と、規則の規定どおり支給していなかったことが判明して支給を停止した平成30年9月・10月分の8万円を補助金として支払うために、一般会計補正予算に計上して提案するものです。

規則では、時間外加算を適用する時間帯が午後8時から午後10時までと規定していましたが、市が利用者・事業者に対して説明していた時間帯と実際に適用していた時間帯は午後6時から午後10時まででした。規則と実際の2時間の差について、市は午後6時から午後8時までの時間外加算を支給すべきであったとの認識に立つものです。

6月24日の本会議では、債権を放棄する案件が起立採決の結果、起立多数により可決し、一般会計補正予算については、全会一致で原案のとおり可決しました。また、本件に対する付帯決議(詳細は7面に掲載)を提案し、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

令和元年度一般会計補正予算(第3回)及び下水道事業特別会計補正予算(第1回)を可決

本補正予算では、街頭防犯カメラの設置に対して補助を行う、防犯設備整備事業補助金を含む、「安全・安心まちづくり対策に要する経費」(282万9千円)、旧中村研一邸主屋及び茶室「花侵庵」が国の登録有形文化財(建造物)に登録されたことを契機に、無形文化財等を活用した観光促進事業の実施を含む、「文化振興に要する経費」(131万3千円)等が計上されました。本補正予算は、5月31日の本会議において予算特別委員会(吹春やすたか委員長)に付託し、6月17日及び20日の委員会審査を経て、6月24日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

お知らせ

・新庁舎の議会施設について、皆様の声をお聴かせください。
・議会報告会(市民と議会の交流会議)を開催します。(詳細は8面に掲載)

令和元年第2回定例会日誌

31日	本会議(陳情の訂正、議案の審議・委員会付託・採決)
30日	本会議(議案の審議・委員会付託)
29日	本会議(一般質問)
28日	本会議(一般質問)
27日	本会議(一般質問)
26日	本会議(一般質問)
25日	本会議(一般質問)
24日	本会議(一般質問)
23日	本会議(一般質問)
22日	本会議(一般質問)
21日	本会議(一般質問)
20日	本会議(議案の審議・委員会付託)
19日	本会議(議案の審議・委員会付託)
18日	本会議(議案の審議・委員会付託)
17日	本会議(議案の審議・委員会付託)
16日	本会議(議案の審議・委員会付託)
15日	本会議(議案の審議・委員会付託)
14日	本会議(議案の審議・委員会付託)
13日	本会議(議案の審議・委員会付託)
12日	本会議(議案の審議・委員会付託)
11日	本会議(議案の審議・委員会付託)
10日	本会議(議案の審議・委員会付託)
9日	本会議(議案の審議・委員会付託)
8日	本会議(議案の審議・委員会付託)
7日	本会議(議案の審議・委員会付託)
6日	本会議(議案の審議・委員会付託)
5日	本会議(議案の審議・委員会付託)
4日	本会議(議案の審議・委員会付託)
3日	本会議(議案の審議・委員会付託)
2日	本会議(議案の審議・委員会付託)
1日	本会議(議案の審議・委員会付託)

各会派の平成30年度政務活動費収支報告については2面に掲載しています。



審議した主な議案

令和元年度一般会計 補正予算(第3回)

予算の概要は1面に掲載しています。

賛成討論(要旨)

沖浦あつし(みらい)

国の登録有形文化財「花侵庵」の修復工事のみならず、伝統芸能文化事業の観光促進に活用可能な東京都の補助金に組み替えたことを評価する。移動支援費特例補助金については、規則によらない支給の事実発覚後、議会への情報提供や事業者説明会も行われた。利用者及び事業者との信頼回復への是正策を早く整えたと理解する。市に非があることが明らかである以上、利用者及び事業者には、個々により丁寧な対応を行うことを強く求め、本議案に賛成する。

賛成討論(要旨)

田頭祐子(生活者ネット)

桜町上水会館エレベーター改修工事など、補助金、助成金等を積極的に活用した点は評価できる。しかし、未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金は一回の支給で終了する。子どもの貧困については、市内の実態を調査し、どのような支援が必要か、当事者の声を把握すべき。また、学校でのプログラミング教育推進事業は、ドローンや電磁波など、子どもたちの健康への悪影響が懸念される。有線LANへの切り替え等の対応を求める。

賛成討論(要旨)

片山 薫(市民カエル)

防犯カメラ設置に当たり、町内会で合意を得る上で反対意見

を持つ人が排除され、町内会から抜けてしまうと地域の見守り能力の低下につながる。これまでのやり方は見直すべき。移動支援費の問題を通じて、条例、規則等と事務作業の整合性を確認することが一層重要であり、各部署で点検すべき。移動支援事業については、利用者の需要に応えられていない実態を変えていく必要がある。利用者のニーズに合った事業とするための精査をするべきである。

債権の放棄について

本件は、6月7日の本会議において上程し、答弁調整のため質疑が保留となりました。そのため、6月20日に本会議を開催して質疑の続きを行い、同日、厚生文教委員会(紀由紀子委員長)に付託し、委員会で審査を行いました。

6月24日の本会議では、委員長報告に対し、議員から7つの質疑があった後、委員会での審査が不十分であるとして、厚生文教委員会に再付託を求める動議が提出され否決しました。本件については、起立採決の結果、起立多数により、可決しました。

賛成討論(要旨)

森戸洋子(日本共産党)

障がい者の移動支援費誤支給に係る債権放棄の議案は、日本

共産党小金井市議団の指摘で修正されたが、議案の審議が不十分である。市は規則と実際の支給に間違いがあったが、12年間を誤支給していた。しかし、利用者は市から説明もなく、利用料を払い過ぎていたことを知らされていなかった。小金井市だけが債権放棄するのは無責任であり、利用者を引き去りにしたやり方は許されない。利用料を返還すべきである。

反対討論(要旨)

渡辺大三(情報公開)

本議案は、12年にも及ぶ市の移動支援費支給ミスに関して、行政として何ら責任も取らず、利用者の声も聞かず、一方的に「不当利得」と決め付け、その返還を免除するものである。支給ミスによる市の損害は、その全額を責任のある市長や関係する職員が負担すべきものである。そのような観点から、住民監査請求も提起した。なお、早朝夜間加算が、一部事業者においてガイドヘルパーに支給されていない事態は不適切であり、早急に改めるべきである。

●委員会の視察先とテーマ●

庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会

8月6日、7日

- ▽栃木県下野市(新庁舎建設について)
- ▽埼玉県北本市(新庁舎建設について)

※ 過去の行政視察報告書は、議会図書室(本庁舎4階)または情報公開コーナー(第二庁舎6階)で閲覧できます。また、行政視察報告書を市ホームページで公開しています。

所管事務調査を行っています

常任委員会では、本会議で付託された議案や請願・陳情の審査のほか、委員会の所管に属する市の事務を独自に調査する「所管事務調査」を行う権限があります。

各常任委員会で次の所管事務調査を立ち上げ、それぞれ令和3年3月まで継続して調査を行うこととしました。

【厚生文教委員会】

▽ 小金井市保健福祉総合計画に関する諸問題の調査

▽ 子ども施策に関する諸問題の調査

▽ 社会教育施策に関する諸問題の調査

▽ 【建設環境委員会】

▽ 駅周辺整備に関する調査

▽ 市内都市計画、自然環境及び住環境に関する調査

▽ 資源循環社会形成に関する調査

▽ 【総務企画委員会】

▽ 小金井市公共施設等総合管理計画の進捗状況と方針についての諸問題の調査

▽ 地域防災、減災及び被災者支援についての諸問題の調査

全員協議会を開催しました

【6月18日】

【6月24日】

▽ 新庁舎及び(仮称)新福祉会館建設について

広報協議会

次の日程で開催しました。会議の様子はYouTubeでご覧いただけます。

▽ 6月20日(木)

▽ 7月12日(金)

平成30年度 政務活動費収支報告一覧表

政務活動費は、議員の調査研究等に必要経費の一部として、議会における会派に対して交付するものです。

各会派の収入・支出報告書、支出調書、収入・支出整理簿、領収書等の写しについては、市ホームページに掲載しています。

会派名	会派人数	交付額(A) (※1)	預金利子(B)	収入(C) (A+B)	支出額(D)	返還額(C-D) (※2)
自由民主党・信頼の小金井	5人	1,800,000円	9円	1,800,009円	1,656,422円	143,587円
日本共産党小金井市議団	4人	1,440,000円	2円	1,440,002円	1,419,871円	20,131円
小金井市議会公明党	4人	1,440,000円	3円	1,440,003円	1,165,701円	274,302円
みらいのこがねい	3人	1,080,000円	0円	1,080,000円	1,041,953円	38,047円
小金井をおもしろくする会	1人	360,000円	0円	360,000円	359,989円	11円
こがねい市民会議	1人	360,000円	0円	360,000円	198,730円	161,270円
情報公開こがねい	1人	360,000円	2円	360,002円	336,567円	23,435円
改革連合(※3)	1人	—	—	—	—	—
生活者ネットワーク	1人	360,000円	0円	360,000円	359,936円	64円
小金井の明日をつくる会	1人	360,000円	2円	360,002円	123,306円	236,696円
市民といっしょにカエル会	1人	300,000円(※4)	0円	300,000円	283,185円	16,815円
緑・つながる小金井	1人	300,000円(※4)	0円	300,000円	299,691円	309円
緑・市民自治こがねい	2人	120,000円(※5)	0円	120,000円	42,815円	77,185円
合計		8,280,000円	18円	8,280,018円	7,288,166円	991,852円

※1 会派の所属人数に月額30,000円を乗じた金額を交付しています。

※2 残額は市に返還しています。

※3 平成30年度政務活動費を申請していません。

※4 10か月分を交付(平成30年6月1日に会派結成)

※5 2か月分を交付(平成30年5月31日に会派解散)

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

議案の審議結果
付託先略称 即：委員会付託を省略し本会議で採決
総：総務企画委員会 厚：厚生文教委員会
建：建設環境委員会 予：予算特別委員会

請願・陳情の審議結果
付託先略称 即：委員会付託を省略し本会議で採決
厚：厚生文教委員会

【会派略称】自：自由民主党・信頼の小金井 共：日本共産党小金井市議団 公：小金井市議会公明党 み：みらいのこがねい お：小金井をおもしろくする会 会：こがねい市民会議
情：情報公開こがねい 改：改革連合 ネ：生活者ネットワーク 市：市民といっしょにカエル会 緑：緑・つながる小金井

閉会中の委員会日程及び審査案件
議会運営委員会
7月31日(水)午前9時
8月28日(水)午後2時
総務企画委員会
8月5日(月)午前10時
厚生文教委員会
8月20日(火)午前10時

会議録が早くご覧になれるよう、未定稿(校正中)を公開しています。
http://www.city.koganei.tokyo.dbsr.jp/



一般質問

(4面～6面) 6月4日、5日、6日、7日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称	(自民党・信頼)	自由民主党・信頼の小金井	(情報公開)	情報公開こがねい
	(日本共産党)	日本共産党小金井市議団	(改革連合)	改革連合
	(公明党)	小金井市議会公明党	(生活者ネット)	生活者ネットワーク
	(みらい)	みらいのこがねい	(市民カエル)	市民といっしょにカエル会
	(こがねい)	小金井をおもしろくする会	(緑・つながる)	緑・つながる小金井
	(市民会議)	こがねい市民会議		

市の重要施策について



吹春やすたか (自民党・信頼)

①西岡市長は選挙公報に記載した内容を覚えているか。(イ)稲葉前市長は、職員数を95人から67人へ、人件費は98億8千200万円から59億800万円へと減らしているが、行財政改革は進まなかったと言った理由は。(ウ)稲葉前市長の任期中の経常収支比率と人件費率の改善率は、多摩26市トップと言われているが、西岡市長は、就任後1週間で地域手当増額を約束した。市長の認識は選挙公報どおりか。

市長 (ア)覚えている。(イ)出馬に際し、当時の行財政改革の方向性だけでは課題を乗り越えられないと判断

子どもたちの安全を守るためにできること



小林正樹 (公明党)

ここ最近、子どもたちを取り巻く悲惨な事故や事件が相次いでいる。小金井市においても、未来を担う子どもたちを守っていくため、具体的な対応について考える必要がある。(ア)児童虐待に対する児童相談所との連携は。(イ)幼稚園や保育園のお散歩ルートの確認は。(ウ)警察との交差点のチェックは。(エ)小学校PTAで行っている安全点検の対応強化を。(オ)高齢者の自動車運転免許証の返納を進めないか。

子ども家庭部長 (ア)子育ての相談は多い状況。先般の虐待による死亡事案を受け、都の虐待防止条例の周知に努め、子どもの健やかな成長を社会全体で見守る機運を高めたい。(イ)より一層安全・安心な保育ができるよう考えて対応したい。

都市整備部長 (ウ)小金井警察署からは具体的な取組内容はまだ示されていないが、引き続き情報共有を図り、連携して対応したい。(エ)これまで以上に子どもの安全を最優先に考えていく。(オ)高齢者の公平性を考えて検討したい。

その他、良好な住居環境を築き、長く小金井市で安心して住み続けていただくために、一般住宅を建てる際の都市計画による規制誘導の見直しについて、他市事例を交えて質問しました。

共に学び共に生きる 小金井市を実現しよう



鈴木成夫 (みらい)

障がい者の理解と啓発のために作成したパンフレットを活用するために取り組むべきことは何か。

福祉保健部長 子ども向けと一般向けパンフレットを千500部ずつ、一般向けリーフレットを二千部作成した。今後は、更に市民の意見を聞き、趣旨の理解を進めることが必要で、対話や意見交換などを通じ理解促進、普及啓発に取り組むべきと考えている。障害者週間のイベントなどで機会を捉えて活用していきたい。

教育長 東京学芸大学の高橋教授と相談し、小金井市の多くの方々にパンフレット作成に関わり、知恵を出していただいた。教育委員会としても、障がいとは何か、何が障がいを作りだすのかを自分事として主体的に考え、様々な角度から検討した。障がいのある方もない方も共に学び共に生きる社会を作ること、答えのない問題として捉え、子どもたちと一緒に考え、より良い未来を作るきっかけになればと思う。

その他、特別な配慮や支援が必要な児童のため、民間保育園・幼稚園を対象に6月から開始する巡回相談「さらさらサポート」の課題と、市の相談支援サービスにおけるAI導入の検討について質問しました。

地域の見守り合いと認知症予防策の強化



沖浦あつし (みらい)

年齢を重ねても、このまに居れば安心だと思ってしまう。認知症の予防策について問う。

(ア)認知症は早期発見、治療で治せる場合がある。認知症予防の必要性は。(イ)現在の施策での実施件数はまだ少ない。認知症が重度化する前にいかに発見し、治療や予防策につなげていくのか。(ウ)認知症の正しい知識を伝え、見守り合いの教育が重要。また、認知症の方でも、本人の意思に沿ったその方らしい生き方を全うできるような対策を。

福祉保健部長 (ア)アルツハイマー型認知症の場合は治療による回復は難しいと言われるが、軽度の場合は発症を遅らせることができると。生き生きとした日常生活を送っていただきたいことから予防という考えで取り組む必要がある。(イ)市配布の高齢者福祉のしおりにも忘れ相談シート、認知症安心ガイドブックに認知症気付きチェックリストを掲載している。認知症に対する意識を市民の中でどのように醸成するかは研究課題。(ウ)普段の様子を知ってもらい、変化に気付ける地域のつながりや環境作りが大切。まずは相談窓口、市内イベント等を活用し、認知症、また高齢者の健康増進や介護予防につながる情報周知、実行に努めたい。

食品ロス削減推進法の趣旨を市民運動に



篠原ひろし (改革連合)

5月24日に食品ロス削減推進法が成立した。国が定めた法律だが、その趣旨をいかし啓蒙、実践していくのは国民、市民に最も身近な区市町村である。小金井市も3Rを提唱しているが、最優先すべきは、廃棄物の発生抑制であろう。福井県で始まった食べ切り運動が長野県松本市に波及し、宴会の始まり30分と終了10分前で食べ切る「3010運動」が提唱されたそうである。市民の意識付けに効果がある。市民、事業者等が知恵を集め、市民運動として定着させていくべき。

環境部長 市独自に「2020運動」を提案している。食べ切りについては、家庭、事業者にも積極的に取り組んでもらうため、要綱整備を目標としている。

学校教育部長 食育教育の課題と捉えて校内活動で子ども自身が食べ残しを減らす取組をしている。



テーブルに置いて食品ロス削減をPR

歴史と文化を活用したまちづくりを考えよう



村山ひでき (みらい)

市の貴重な歴史と文化を保存し、活用を考えるべき。(ア)埋蔵文化財について、出土した土器や石器の写真をホームページに掲載する等の工夫を。(イ)AR技術によるスコープ貸し出しで遺跡の当時の様子を再現できる。研究を。(ウ)ウォーキングマップと連携し、指定文化財のアプリを。(エ)43か所の文化財説明板が設置されているが、近現代以降の文化財が少ない。かつてにぎわいがあった場所を中心に近現代の掘り起こしを。(オ)保存管理について電子化は進んでいるか。

生涯学習部長 (ア)充実を図りたい。(イ)ARやVR技術が駆使された公開は有効性があ、他市の事例もある。市内の遺跡に適した活用方法を研究したい。(ウ)昨年度から新設されたガイドウォークで小金井桜や文化財に親しめるルートが採用された。(エ)近代史でも、田中村研一郎が国の登録有形文化財に登録決定したように、価値があるので調査を進めたい。(オ)これからは古文書類の電子化、旧小金井市史のPDF化を検討したい。

その他、キンビバリの里の残地取得について、民間所有者の意思を確認し、ナショナルトラスト運動で集まった寄付の受入れを考えるべきと主張しました。

なぜ、待機児童は昨年よりも増えたのか



白井 亨 (こがねい)

今年度の小金井市の待機児童数は113人で、昨年比25人増である。(ア)待機児童解消はいつになるのか。(イ)再び増えた原因の分析は。(ウ)武蔵小金井駅南口第2地区再開発エリアの子ども人口増の推計は。(エ)近隣の駅前再開発の事例を参考に早めに対策を検討してはどうか。(オ)今年度の対応策は。

子ども家庭部長 (ア)昨年度の解消を目指したが、現時点ではいつという計画はなく、計画策定の準備をしていく中で明確にしたい。(イ)新規申請者が増え、特に2歳クラスは昨年比で人口減になったものの、新規申請者が2割増えたことなどが主な要因。新たに保育需要を掘り起こしたのではない。(ウ)現時点で児童人口推計はできていない。(オ)新規開設で定数の増を考慮しており、現在調整中である。

保育政策担当部長 (エ)情報収集をして対応したい。その他、保育計画について質問しました。



待機児童数増の分析をした自作資料 (本会議に提出)

運動会で熱中症対策のテントを使用しないか

遠藤百合子 (自民党・信頼) 学校教育部長 (イ)全ての教育活動の中で自己肯定感を高めるよう指導している。



①市立小・中学校の運動会、体育大会等で熱中症対策のため、児童・生徒のためのテントを設置しないか。

学校教育部長 各学校の判断で、状況に応じて対応できることを取り組んでいるが、現状ではいくつかの課題がある。熱中症予防等の徹底に向け、引き続き各学校に指導していく。

②子どもたちの自己肯定感向上を。(ア)保育園・幼稚園では。(イ)小・中学校では。子ども家庭部長 (ア)保育指針の解説に記載されており、自己肯定感を大切にしたい保育、教育が実践されていると認識している。

市民部長 経済課や商工会窓口におけるチラシの配架等により、事業者向けに周知を図っている。

総務部長 ICTの整備が必要であり、今後の新庁舎(仮称)新福祉会館におけるICT推進をきっかけに導入を考えると必要と認識している。

小金井型コミュニティスクールを推進せよ

岸田正義 (みらい) スクールについて。(ア)重要なことは熟議である。合議体ではない学校運営連絡会から地域と共にある学校のための学校運営協議会へと発展させるべき。(イ)子どもたちの育ちを始め地域の課題を地域で解決するために、社会総掛かりでどのような地域を目指すのかを共有し、熟議する小金井型コミュニティスクールが必要と考えるが、教育長の考えは。



①地域学校協働活動について。(ア)市独自の地域連携事業協力校の取組も踏まえ、地域学校協働本部を整備し、支援から連携協働、個別の活動からネットワーク化へと昇華すべき。(イ)社会教育委員会提言どおり、地域と共にある学校を実現するために、コミュニティスクールと両輪となる地域学校協働本部を設置すべき。

生涯学習部長 (ア)地域と学校との関係を考えるに当たりキーワードとなり得る。教育長 (イ)進むべき方向はご指摘のとおりだが、じっくり慌てず進めていく。

②小金井型コミュニティ

学校教育部長 (ア)地域と共にある学校の実現に向け小金井市らしいコミュニティスクールの研究を進める。

教育長 (イ)まさにその通りであり、地域の人達の声を最大限いかすために、コミュニティスクールが必要。

医療的ケアを必要とする子どもに支援を

渡辺ふき子 (公明党) 教育を受けており、副都庁に基づく学校交流活動は43人が行っている。今年度は、公立学校への訪問看護ステーションによる医療的ケア実施委託が予算化された。就学前の医療的ケア児の保護者は、早めに就学相談を行ってほしい。



新生児医療の発達に伴い、医療的ケア児が増加し、子どもの年齢に応じた合理的配慮が必要となっている。

小金井市における就学前教育・保育、学齢期の支援、地域との繋がりに関して、現状と今後について伺う。

子ども家庭部長 平成30年度は認可保育所で2人の子どもを預かった。認可保育園15園で入所相談を受けられるが、個々の状況に応じて保護者、医療関係者、受入側との連携と体制整備が必要である。

学校教育部長 これまで特別支援学校に在籍し、学校や自宅で必要なケアや自立生活支援課長 平成31年3月、厚生労働省は、医療的ケア児等総合支援実施事業における医療的ケア児等の支援に関わる各分野の関係者及び当事者団体との協議の場の設置を示した。今後、市として検討を行う。

その他、不妊症・不育症対策、小児がん網膜芽細胞腫の早期発見について質問しました。

はげと野川を壊す都市計画道路は要らない

坂井えつ子 (緑・つながる) (ア)都市計画道路3・4・11号線の意見交換会の概要や開催時期は。(イ)意見交換会の具体的な内容や都知事の訪問を文書で伝え、文書回答を得るべきではないか。



(ウ)都市計画マスタープランに都市計画道路3・4・11号線の整備の推進が明記された経緯は。2008年、当時の市長は、「かなり難しい話であり、現実的ではない」と答弁している。市民参加の場では、当該路線に関する議論は見当たらず、都市計画道路の整備は難しいのではないかと意見が出ている。推進はよろか、難しいという見解が示され求めました。

進められた経緯は。(イ)次期都市計画マスタープラン策定のスケジュールは。都市整備部長 (ア)把握していない。具体的な内容はこれから検討すると聞いている。(イ)都知事の訪問は、状況を踏まえ判断すること。必要に応じて都に伝えるべきものは伝える。(ウ)策定時より時間が経過しているため、詳細は不確かな部分がある。(エ)令和4年3月に改訂予定。手続きや方法については検討中。

その他、同性パートナーシップ制度の早期導入と、小金井の資源をいかした生物多様性地域戦略の策定を求めました。

命を守るアレルギー対策について

紀 由紀子 (公明党) アレルギー対策について。花粉症や命に関わる可能性もある食物アレルギーなどの疾患に悩む人は多い。早い段階で適切な保健指導を行い、発症・重症化の予防に取り組みことは重要である。厚生労働省が「小児のアレルギー疾患保健指導の手引き」を作成し、情報サイトで公開している。(ア)数年前、近隣市で、児童が学校給食でアナフィラキシーショックを起こして亡くなったことを受け、その市ではアナフィラキシー対応ホットラインを開設した。私もすぐに一般質問で訴え、小・中学校のホットライン



開設が実現した。効果の認識はどうか。(イ)幼稚園、保育所、学童保育所等に拡充しないか。(ウ)小児のアレルギー疾患保健指導の手引きの情報提供をしないか。(エ)災害への備えや避難所対応を周知・啓発しないか。

学校教育部長 (ア)安心、安全に集団生活を送るための大切な取組である。

子ども家庭部長 (イ)検討していきたい。

福祉保健部長 (ウ)検討していきたい。(エ)有効な方法を考えたい。

その他、AEDのコンビニ二等への設置拡充と女性への活用、東京消防庁公式アプリの活用の周知等について質問しました。

地震被害を最小限に抑える取組を市の責任で

板倉真也 (日本共産党) (ア)地震ブレイカー購入費補助制度の創設及び低所得世帯への無償配布を。(イ)民間所有のブロック塀等の撤去や新設等を行う者に補助金を交付する市町村に対し、国・東京都が補助を行う制度が確立された。この機会を捉えて小金井市でも助成制度を創設すべき。



総務部長 (ア)あっせん制度の創設を今年度中に検討したい。(イ)助成制度創設に向けての準備を進めているところ。国・都の補助金制度を活用するための条件として、地域防災計画又は耐震促進計画に避難路の指定を位置付ける必要があるため、その作業も含め、着々と進めていくので、今しばらく時間を頂きたい。

②避難行動要支援者支援事業について。(ア)市報を使って、事業のPRを定期的に行うべき。(イ)先進事例を調査・研究し、そこで得られたものを共有するための連絡会を毎年開くべき。

福祉保健部長 (ア)市報への掲載回数を増やせるか検討したり、定期的に周知したりするなど、一層のPRに努めてまいりたい。(イ)先進事例は、近隣の多摩地域の状況も併せて研究したい。モデル地区連絡会は、定期的な開催は難しいと考えるが、しかるべき時期を見極め、開催したい。

自動販売機による社会貢献について

宮下 誠 (公明党) 自動販売機の価値を正しく認識すべき。(ア)災害対応型の自動販売機を普及・拡充しないか。(イ)防犯カメラと自動販売機がセットになって設置されている事例がある。防犯対策として自動販売機を活用しないか。(ウ)市は、今後より多くの財政援助団体へ補助していく必要に迫られており、財源確保への取組は待ったなしである。ある調査によると、設置料を入札等の価格競争方式に変更した自治体では、1台当たりの収入が平均22倍の増収になったという。自動販売機の設置場所貸付制度を導入しないか。



総務部長 (ア)現在、小金井市は、防犯カメラと自動販売機をセットで設置している事例がある。防犯対策として自動販売機を活用しないか。(ウ)市は、今後より多くの財政援助団体へ補助していく必要に迫られており、財源確保への取組は待ったなしである。ある調査によると、設置料を入札等の価格競争方式に変更した自治体では、1台当たりの収入が平均22倍の増収になったという。自動販売機の設置場所貸付制度を導入しないか。

井宮地楽器ホールにおいて、災害対応型の新機種を2台設置している。今後、災害対応型の必要性が高いと考えられる施設について、新機種に導入の際に導入を検討したい。(イ)防犯カメラの設置に必要な補助金、台数には限りがあるため、補完する意味で自動販売機を活用できないかを今後の研究課題としたい。(ウ)平成18年の地方自治法改正に伴い、使用許可から貸付に切り替える自治体が出てきている。今後は、他市事例も参考にしつつ、メリット・デメリットを精査した上で、導入時期と方法について検討していきたい。

新庁舎建設に発注者責任を果たすべき

水上洋志 (日本共産党) (ア)新庁舎建設について問う。(ア)設計事業者の技術提案書に対する市長の見解はどうか。(イ)議会にはC12、C13案をベースとして複数案が示され、夏頃までに1案に絞ると説明してきたが、その経過は。(ウ)設計に対する意見、要望、判断はどう行うのか。(エ)「りんく」の店」を設置すべき。



子ども家庭部長 (イ)道路管理者、交通管理者との連携も視野に、関係部署と連携し、総合的に考える。

その他、東小金井駅の早朝駅員不在問題と、東小金井駅北口交番の分かりやすい表示を求めました。

子ども家庭部長 (イ)道路管理者、交通管理者との連携も視野に、関係部署と連携し、総合的に考える。

その他、東小金井駅の早朝駅員不在問題と、東小金井駅北口交番の分かりやすい表示を求めました。

加齢性難聴者の補聴器購入に補助制度を



たけはし たかひろ
(日本共産党)

70歳以上の高齢者の約半数が加齢性難聴になると言われている。私は多くの難聴で大変な思いをしている方に会ってきた。難聴になると認知機能が低下し、コミュニケーションに支障が出て、結果的にうつや認知症につながるリスクがあると言われている。難聴が認知症の予防可能な原因の中で最大の危険因子とも言われている。しかし、補聴器は平均で15万円から30万円と高く、補聴器が欲しいけど高くて買えないという声を聞いており、支援が強く求められている。市は、難聴の方が抱える課題をどう認識しているか。補聴器は必需品と考えているか。補聴器購入に補助制度を作るべきではないか。

新庁舎・新福祉会館設計に対する姿勢を問う



齋藤 康夫
(市民会議)

①過去の基本構想や基本計画市民検討委員会の趣旨、建設計画調査やプロポーザルコンペ実施等の経過を含め、基本設計が完了するまでに、市の意思をどのように反映させるのかを問う。
(ア)新庁舎建設設計画における過去の経過は、(イ)過去の経過を踏まえ、職員の意向はどのように反映させるのか。
②清掃関連施設の移転を計画している貫井北町中間処理場の敷地の都市計画変更手続は進んでいるのか。
③環境部長 処理量が1日当たり5トン以上となるので、都市施設の区域変更及び用途地域の変更が必要となる。令和4年度中には手続を完了させ、令和6年度中に施設を稼働させたい。

新庁舎建設基本設計に市民の意向の反映を



渡辺 大三
(情報公開)

①(ア)市民ワークショップでも広場に関しては市民の関心が高い。基本設計業者の案は、駐車場の相当部分を占める平面駐車場が地上にあることにより、広場の面積が確保できないという問題を抱えている。基本設計業者の技術提案書に関して、とりわけ、広場と駐車場についての市長の見解は、(イ)広大なオープンスペースを生み出すには、地下に駐車場を作らなければならぬ。市長はどのようなイメージを持っているか。(ウ)技術提案書で違和感があったことは、平面駐車場のところに「小金井ひろば」と記載されていたことである。駐車場は広場ではない。(ア)庁舎建設等担当部長 (ア)市民の意見を踏まえて、発注者として判断していく。(ウ)平面計画については、この後に考えることになる。市長 (イ)判断すべき時期が来れば判断する。(ア)東小金井駅nonono wa口北西のT字路にカーブミラーの設置を。(イ)前原町の霊園通りの歩車道を分離する白線が、長距離にわたって消えてしまっている。早急に白線を引くべき。都市整備部長 (ア)警察と連携を図りながら対応したい。(イ)優先順位を踏まえ、適切に対応したい。

新庁舎と公民館/子どもの権利と教科書採択



片山 薫
(市民力エール)

①(ア)新庁舎の技術提案書のアウトリーチ的な窓口は、(イ)会議室等の市民利用は、(ウ)環境配慮住宅型研修施設の技術利用を。(エ)公民館本館執務機能のみならず、市民利用の場の確保を。庁舎建設等担当部長 (ア)現時点での採用は難しい。(イ)関係課と検討中である。環境部長 (ウ)重要と認識。生涯学習部長 (エ)本館機能を新庁舎内に入れ、地域づくり等の機能を高めたい。②(ア)のびゆくこどもプラザ小金井案に子どもの権利推進計画を包含とは。(イ)子どもオンブズパーソン実施の時期は。(ウ)子どもの貧困

全ての人の人権が尊重される施策の充実を



森戸 洋子
(日本共産党)

市内の性同一性障害の悩みをカミングアウトした方からは、知識のない環境から認知度の高い環境に変えてほしいとの声が寄せられている。小・中学校等の教育現場での対応等が重要である。(ア)教育現場での相談体制、トイレや更衣室等の施設利用の配慮、児童・生徒や教職員、保護者に対するLGBTへの理解の促進等の対応を問う。(イ)豊島区のようなガイドラインを制定しないか。(ウ)市職員への研修を充実させないか。(エ)性自認及び性的指向を理由とした不当な差別を禁止し、パートナーシップ制度等を盛り込んだ条例の制定や、性の多様性を尊重する都市宣言を行わないか。学校教育部長 (ア)学校では、東京都の人権教育プログラムを基に理解を深めている。組織的な相談体制の整備、相談しやすい環境の整備等を指導している。(イ)豊島区のガイドラインは詳しく書かれており、参考になると考えている。企画財政部長 (ウ)昨年度から人権研修の一環で行っている。多様性への理解が進むことを期待している。現在、パートナーシップ制度について検討を進めているが、様々な方の意見も踏まえ、適切なものを検討していきたい。

老朽化した学校施設の更新計画を



河野 律子
(自民党・信賴)

①(ア)学校施設は、教育面、機能面、安全面などの老朽化対策が急務であり、教育環境の向上とともに、少子高齢化を見据え地域のコミュニティの拠点の活用等、多角的な視点での更新計画を。(イ)標準学級数を超えている学校の運営に課題があり、将来人口の予測も踏まえ、学区の検討が必要である。調整区域の検討の進捗は。(ウ)公共施設再配置のビジョンと財源確保策は。学校教育部長 (ア)必要な機能、条件等を整理し、検討を進めていきたい。(イ)引き継ぎ丁寧な説明し、保護者の理解を得たい。

美しいまちをつくる―街路樹について



湯沢 綾子
(自民党・信賴)

(ア)美しい街路樹の並木は、まちのイメージを向上させ、市民の憩いともなり、魅力あるまちづくりには欠かせない。今年度新しく街路樹を植栽することとなっている。緑中央通りは、近く新庁舎の建設も予定されており、まさに市の中心となる通りである。植栽時期と検討内容等、詳細を伺いたい。(イ)街路樹の樹種は没個性的でなく、また沿道条件に合ったものを選定すべきである。例えば、北大通りは幅員が狭いにもかかわらず成長の早い樹が植えられていることから、春には強剪定され丸坊主のような状態となってしまう。街路樹のネットワーク形成において、方針や考え方を伺いたい。(ウ)低木がまばらになっていたり、逆に繁茂しすぎて通行の妨げになっていたりする箇所が目につく。地被植物の活用など、コストをかけない維持管理の工夫を。都市整備部長 (ア)今年度末頃からピンクと白のハナミズキを交互に植栽していく予定。(イ)沿線住民の方へのアンケートや商店会・町会等のご意見等も伺いながら進めてまいりたい。(ウ)伸びの早さに応じて、適切な刈り込みを年に複数回実施している。欠落箇所については、予算の範囲内で可能な限り補植していきたい。

コミュニティタクシーを交通不便地域に



田頭 祐子
(生活者ネット)

①公共交通空白地域があり、高齢者、障がい者、妊娠中の女性等への移動の支援が必要である。COCOバスの再編に合わせ、コミュニティタクシーの導入を検討してはどうか。(ア)空白地域の要望、ニーズ等は把握しているか。COCOバス再編の状況は。(イ)先進事例を研究し、タクシー会社と協定を結びコミュニティタクシーを導入しないか。都市整備部長 (ア)要望などはアンケート等で把握している。交通弱者の移動の確保は公共交通の課題の一つだ。COCOバス再編事業の基本方針が決まり、今年度は運行基準案の検討等を進める。(イ)地域住民が地域組織を立ち上げ、ルート等を作る手法は継続的な運行につながる有効な手段だ。今後、新規路線の要望があれば、この手法で運行までの流れを示したガイドラインの策定を想定している。②環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画が改定される。小金井市の二酸化炭素排出量の削減は目標を下回っており、更なる削減のためにも、市民への啓発と再生可能エネルギーの導入目標値が必要である。環境家計簿や、市民版の環境行動指針を作らないか。環境部長 市民に意見を聞きながら進める。

意見書・決議の審議結果

※ 可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

○：賛成 ×：反対 △：退席 —：欠席 議：議長(原則、採決には加わらず)
副：副議長(議長が公務のため、副議長が議長の職務を代行)

自	共	公	み	お	会	情	改	ネ	市	緑														
吹春やすたか	湯沢綾子	河野律子	五十嵐京子	遠藤百合子	水上洋志	たゆ久貴	板倉真也	森戸洋子	渡辺ふき子	小林正樹	紀由紀子	宮下誠	村山ひでき	鈴木成夫	岸田正義	沖浦あつし	白井亨	齋藤康夫	渡辺大三	篠原ひろし	篠原ひろし	田頭祐子	片山薫	坂井えつ子

件名	要旨(提案議員が作成)	吹春やすたか	湯沢綾子	河野律子	五十嵐京子	遠藤百合子	水上洋志	たゆ久貴	板倉真也	森戸洋子	渡辺ふき子	小林正樹	紀由紀子	宮下誠	村山ひでき	鈴木成夫	岸田正義	沖浦あつし	白井亨	齋藤康夫	渡辺大三	篠原ひろし	篠原ひろし	田頭祐子	片山薫	坂井えつ子	
米国の未臨界核実験に抗議し、2度と行わないことを求める決議	5月24日、米国が核爆発を伴わない未臨界核実験を今年2月に実施していたことが明らかになった。今回の未臨界核実験は、核軍縮義務に反し、核兵器廃絶を願う被爆者と多くの人々を失望させるものである。非核平和都市宣言自治体の市議会として、米国に対し未臨界核実験に抗議し、2度と行わないことを求める。	○	○	○	—	○	○	○	○	副	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メタンハイドレートの実用化を求める意見書	日本近海には国内の天然ガス消費量の約100年分にも相当するメタンハイドレートが存在すると推定され、新たなエネルギー資源として注目されている。メタンハイドレートの実用化を強力に推進するため、現在の探掘海域以外でも探掘が開始できるように、また、人材の確保や産学連携強化、事業の安定化に資する予算措置を求める。	○	○	○	議	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「子どもの貧困対策の推進に関する法律」と「子供の貧困対策に関する大綱」の適正な見直しを求める意見書	①子どもの最善の利益の実現と子どもの意見を聴くシステムの構築、②自治体ごとの貧困対策計画策定、③義務教育完全無償化、④家族への支援、労働・雇用環境改善と所得再分配強化、⑤ひとり親家庭貧困率改善の目標設定と検証体制の構築、⑥子どもの生活実態把握の全国的調査と子どもの貧困把握指標の開発・研究等を求める。	△	△	△	議	△	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
放射線読本の配布の見直しを求める意見書	改訂版は、事故原発の写真、広域的な汚染図、汚染の単語、国際原子力事象評価尺度のレベル7、被ばく線量と健康影響との比例関係や子どもの被ばく感受性等が削除され、国の責任、汚染や被ばくによる人権侵害の状況、安定ヨウ素剤やホットスポット等放射線防護の情報や甲状腺検査の必要性の記述もないため、配布の見直しを求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
石垣島への基地建設中止を求める意見書	石垣市では陸上自衛隊配備の賛否を問う住民投票を求め、有権者の4割に近い14,236筆を集め、条例制定を請求したが否決された。憲法95条に基づき住民投票で過半数の同意を得るべき。民主的な手続きを踏まない石垣市平得大俣地域への自衛隊配備について、沖縄県環境影響評価条例の趣旨を踏みにじる一部用地造成工の中止を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	△	○	×	△	×	○	○	○	○	○	○
国及び東京都に対して、学校体育館へのエアコン設置補助制度の拡充を求める意見書	学校体育館へのエアコン設置は急務である。そのため、東京都の公立小・中学校体育館へのエアコン設置補助制度での3分の2補助などの措置について、①継続して実施すること、②電源設備やランニングコストへの補助を行うこと、③国に対し、リースについても補助対象に加える要望を東京都として行うことなどを求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書	暴力や食事を与えない等の行為で保護者が我が子を死に追いやる深刻な児童虐待が相次いでいるため、①「しつけによる体罰は要らない」との認識の周知啓発や子どもの権利擁護の在り方の結論を出すこと、②学校の虐待防止体制構築や警察との連携、スクールロイヤー等配置の財政支援を行うこと等の取組の推進強化を求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
信頼される政府統計を目指して更なる統計改革を求める意見書	国会及び政府に対して、統計は国の各種政策の基礎となるものであり、信頼される政府統計を目指し、①統計委員会における基幹統計及び一般統計の徹底した総点検と再発防止策の策定の推進、②統計委員会の位置付けの検討や分散型統計行政機構の問題点の整理、③統計に係る予算・人材の見直し等の更なる改革の取組を求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2020年に刑法の性犯罪規定の見直しを求める意見書	2007年、性犯罪に関する刑法が、刑法制定以来の110年ぶりに大幅改定された。改正法の運用に注目が集まっている中、女性が同意していない性交があったと認めつつ、被告を無罪とした判決が続いている。刑法の性犯罪の規定及び運用によるため、政府に対し刑法見直しと改正法運用における格段の配慮を求める。	△	△	△	議	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハラスメントを包括的に禁止する法整備を求める意見書	職場でのハラスメント防止をうたった女性活躍推進法等改正法が可決・成立したが、ハラスメント行為そのものを禁止する規定がなく、企業への制裁措置もない。よって、日本のジェンダー平等の取組の遅れを改善し、国会で採択された附帯決議を早期に実行に移し、ハラスメント禁止の包括的な法整備を行うことを求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
F-35戦闘機墜落事故原因の究明及び今後の調達に対する見直しを求める意見書	F-35戦闘機は、米議会付属の会計検査院が昨年6月、未解決な欠陥が966件あると指摘した。太平洋沖に墜落したと見られる自衛隊機は、未だ行方不明で、事故原因も未解明だ。欠陥を抱えた可能性がある戦闘機に1兆2千億円も国費を投じることは断じて許されない。よって政府に対し事故原因の徹底究明と、今後の調達の見直しを求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○
加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書	加齢性難聴は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど、生活の質を落とす大きな原因であると共に、うつ病や認知症の危険因子になることも指摘されている。しかし、補聴器の価格は高額であり、低所得者に対する配慮が求められる。よって、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度を創設するよう強く求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
精神障がい者に対する交通運賃割引制度の適用に関する意見書	障がい者を理由とするあらゆる差別の解消や、障がい者の自立及び社会参加の促進の制度改正が進められてきている。国会及び政府がJRを始め全国の私鉄・船舶・高速道路などの各社に対し、精神障がい者についても他の障がい者と同等の運賃割引制度が適用されるよう働きかけを行うなど、必要な措置を講ずるよう強く求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西岡市長に、東京都へ「都市計画道路3・4・11号線に関する意見交換会の継続開催」の働きかけを求める決議	都市計画道路3・4・11号線に関して、東京都はオープンハウス型の説明会の一環で意見交換をする方針は変えておらず、市長による要望の成果は乏しい。市長から、オープンハウスとは別に対話の場としての意見交換会の再度の開催及び建設の是非について意見交換できる場の設定を求めるよう、東京都へ働きかけを要望する。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
移動支援給付金誤支給問題への対応に関し、西岡市長の責任を問う決議	市長は債権を放棄する議案を提出したが、対応には以下の問題があった。①法的な検討も不十分なまま提出、②規則改正が文書管理規程違反であると認めない、③利用者(障がい者)を置き去りにした提出、④再発防止策を明らかにせず提出。よって責任を厳しく問うとともに、行政責任を明らかにすることを求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	△	×	×	×	×	×

【会派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 共：日本共産党小金井市議団 公：小金井市議会公明党 み：みらいのこがねい お：小金井をおもしろくする会 会：こがねい市民会議
 情：情報公開こがねい 改：改革連合 ネ：生活者ネットワーク 市：市民といっしょにカエル会 緑：緑・つながる小金井

視覚に障がいのある方へ

「声の議会だより」をご利用ください

視覚に障がいのある方を対象に、CD及びデージーCDに市議会だよりの内容を音声で収録した「声の議会だより」をお届けしています。

ご家族やお知り合いで視覚に障がいのある方がいましたら、ご利用をお勧めください。ご希望の方は、電話で議会事務局へお申し込みください。

なお、収録はボランティアグループの「小金井市対面朗読の会」のご協力をいただいています。

【対象】

原則として障害者手帳1～6級の視覚障がいのある方(対象者以外でも、図書館本館でご利用いただけます)

【申込】

議会事務局(市役所本庁舎4階)
☎042-387-9947

賛成討論(要旨)
 小林正樹(公明党)
 本意見書の要望事項については、公明党も同趣旨の要望をし

賛成討論(要旨)
 水上市洋志(日本共産党)
 学校体育館へのエアコン設置は、熱中症などから子どもたちを守ることで、災害時の避難所としての役割からも急務であり、国や都の補助制度の拡充を求める。

多くの市民の声で実現されてきたもので、特定の党派だけの成果ではないことを申し添える。

日本共産党が予算に反対したから提案姿勢に問題があるとの指摘は、予算は全体を見て政治的に判断すべきもので、指摘には当たらない。また、学校へのエアコン設置は切実な要望を元に

賛成討論(要旨)
 齋藤康夫(市民会議)
 メタンハイドレートは、原子力発電に代わる国産エネルギーとして確保できる。将来期待のクリーンエネルギーである自然・再生可能エネルギーが実用化されるまで、原子力発電所を稼働させることには不安が多すぎる。現在、大気に放出しているメタンガスはCO2の20倍の温室効果がある。これを採取し、火力発電の燃料とすることにより温室効果を20分の1にできる。また、日本海側の露出型メタンハイドレートはCO2オバスの燃料としても活用できる。

学校体育館へのエアコン設置は、熱中症などから子どもたちを守ることで、災害時の避難所としての役割からも急務であり、国や都の補助制度の拡充を求める。

また、国の予算に賛成したものの、意見書冒頭にある都の予算には反対している。さらに小金井市においても第四小学校体育館へのエアコン設置を進める予算が含まれた当初予算にも反対しており、一貫しない対応に、市民から疑問の声も大きい。



小金井市はGPN会員として印刷のグリーン購入に取り組んでいます

この議会報は再生紙を使用しています。*ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。この印刷物は、植物性インキ(石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ)を使用しています。

特集1

新庁舎・(仮称)新福祉社会館建設の審議状況とこれから

(引用)株式会社佐藤総合計画による技術提案書から抜粋
まだ技術提案段階であり、パース図はイメージです



耐震構造と地下駐車場化について

基本設計業者からは、新庁舎側は免震構造、(仮称)新福祉社会館側は耐震構造として提案されています。(仮称)新福祉社会館側も免震構造にして地下を駐車場にすれば広場の面積も十分に取れるのではないか、という意見も出されています。

新庁舎・(仮称)新福祉社会館の機能連携について

新庁舎・(仮称)新福祉社会館が一つの建物に入居することになります。この最大の特徴は機能連携であることから、その在り方について議論が始まっています。

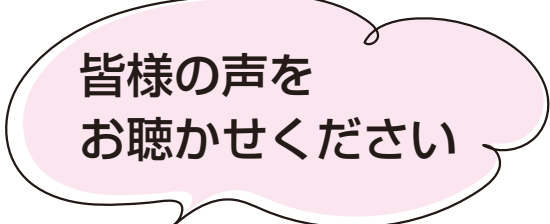
保健センターなど、新しい機能も入ったことから、「(仮称)新福祉社会館」という名称を変えるべきという意見なども出されています。

広場の面積、その活用法について

現在の建設予定地の多くは暫定広場になっていて、周辺の市民や自治会、保育園など多くの方が親しみ利用しています。現在の基本設計業者の提案では駐車場の面積が広いので、自由に使える広場面積が不十分ではないかという指摘が出されています。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
新庁舎	基本設計	実施設計	工事:27か月		→8月 供用開始
(仮称)新福祉社会館	基本設計	実施設計	工事:14か月		→7月 供用開始

新庁舎・(仮称)新福祉社会館の竣工(供用開始)までのスケジュールは左表のとおりです。今年度は基本設計、来年度に実施設計、その後工事を経て、(仮称)新福祉社会館が今から約3年後の2022年7月、新庁舎は約4年後の2023年8月に使えるようになる予定です。
これから議会では、フロア配置や建物構造、広場の使い方などについての質疑を踏まえ、意見を付していきます。



既に基本設計に入っていますが、下記①、②について、ご意見があればお寄せください。

- ①議会施設(傍聴席、傍聴環境など)について
- ②その他

メールでのご送信先:g020199@koganei-shi.jp
(件名に「議会施設等について」とご記載下さい。)
FAXでのご送信先:042-387-1225
郵送の場合:小金井市本町6-6-3 小金井市議会広報協議会宛
締切日:2019年9月10日(火)



議会施設の在り方について こんなことを話し合っています。

新庁舎建設の基本設計に当たり、議会施設の在り方について、「新庁舎建設における議会施設の在り方検討会」を議会内に設置し、全ての会派の代表が参加し協議・検討しています。

例えば、

- ◆本会議場や委員会室はフラットにすること
- ◆高齢者、聴覚障がい者を始めとした障がい者、子育て中の市民が傍聴しやすいバリアフリーの環境をつくること
- ◆政策立案や調査活動、研究機能の充実を目指す議会図書室の在り方
- ◆本会議場におけるICT化
- ◆本会議場等の市民利用

などを協議しています。

特集2

議会報告会(市民と議会の交流会議)を開催します

『どうすれば市政も議会も身近になれるのか』

小金井市議会は、市民に開かれた議会を目指して議会改革を進めてきました。議会基本条例を制定して3年が経過し、更なる議会改革を進めるために、「どうすれば市政も議会も身近になれるのか」をテーマに、市民の皆様とワールドカフェ方式で対話を重ねながら、一緒に考える機会としたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

日時	2019年8月31日(土)18:00~20:00 第1部 6月定例議会報告 第2部 ワールドカフェ
場所	市民会館(萌え木ホール) 小金井市前原町3-33-25(小金井市商工会館3階)
申込	事前予約不要。直接会場にお越しください。
手話通訳・保育	保育をご希望の方は8月22日(木)までにお申込みください。
連絡先	小金井市議会事務局 TEL 042-387-9947 FAX 042-387-1225

議会報告会ってなに?

小金井市議会は、市民に開かれた議会を目指し、小金井市議会基本条例を制定しています。議会報告会は同条例第12条に基づき、市民への説明責任を果たすため、これまで3回開催してきました。

ワールドカフェってなに?

話し合いたいテーマについて、カフェのようにゆったりした雰囲気、相手の意見を尊重しながら自由に意見を述べる事ができる場です。テーブルを移動し、いろいろな人の意見を聴くこともでき、各参加者がこの対話を通じて「気付き」を得ることを目的とします。



原稿は議員が作成しております

次の定例会は令和元年9月2日(月)開会予定です。